

平成23年度決算

佐久市の財務諸表 (概要版)

- 1 普通会計貸借対照表
 - ・連結貸借対照表
- 2 普通会計行政コスト計算書
 - ・連結行政コスト計算書
- 3 普通会計純資産変動計算書
 - ・連結純資産変動計算書
- 4 普通会計資金収支計算書
 - ・連結資金収支計算書

平成24年12月
佐久市総務部財政課

平成23年度佐久市 普通会計 財務書類4表

〈普通会計(7会計)〉 ・一般会計 ・臼田啓明園会計 ・臼田学園会計 ・住宅新築資金等
貸付事業会計 ・生活排水処理事業会計 ・奨学資金会計 ・飲料水供給施設会計

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したものの

年度末時点における「資産・財産とその調達財源」の状況を示したものの

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したものの

1 貸借対照表

将来の世代に引き継ぐ社会資本

債務返済の財源等

| 借方(現在有する資産) | 貸方(資産の調達財源) |
|---|--|
| 〈資産の部〉 1 公共資産 (1) 有形固定資産 ①生活インフラ 1,010億19百万円 ②教育 464億2百万円 ③福祉 109億96百万円 ④環境衛生 31億39百万円 ⑤産業振興 139億93百万円 ⑥消防 14億32百万円 ⑦総務 87億35百万円 (2) 売却可能資産 3億35百万円 (翌年度売却予定のものなど) 1,860億51百万円 | 〈負債の部〉 1 固定負債 (1) 地方債 372億42百万円 (2) 長期未払金 3百万円 (3) 退職手当引当金 68億5百万円 440億50百万円 2 流動負債 (1) 地方債(翌年度償還分) 42億86百万円 (2) 短期借入金(翌年度繰上充用金) (3) 未払金 9百万円 (4) 翌年度支払予定退職手当9億64百万円 (5) 賞与引当金 7億7百万円 59億66百万円 負債合計 500億17百万円 |
| 2 投資等 (1) 投資及び出資金 20億14百万円 (2) 貸付金 2億26百万円 (3) 基金等 176億17百万円 (4) 長期延滞債権 16億17百万円 (5) 回収不能見込額 △4億43百万円 210億32百万円 | 〈純資産の部〉 1 公共資産等整備国県補助金等 297億76百万円 2 公共資産等整備一般財源等 1,557億64百万円 3 その他一般財源等 △162億79百万円 4 資産評価差額 △3百万円 純資産合計 イ 1,692億58百万円 |
| 3 流動資産 (1) 現金預金 ①財政調整基金 47億15百万円 ②減債基金 54億72百万円 ③歳計現金 ア 17億44百万円 (2) 未収金 2億61百万円 121億92百万円 | 負債・純資産合計 2,192億74百万円 |
| 資産合計 2,192億74百万円 | 負債・純資産合計 2,192億74百万円 |

2 行政コスト計算書

将来の世代の負担となる債務

これまでの世代負担

| | |
|---|--|
| 【経常行政コスト】 A 327億74百万円 | |
| 1 人にかかるコスト 62億87百万円 (人件費、退職手当引当金繰入等) | |
| 2 物にかかるコスト 114億83百万円 (物件費、維持補修費、減価償却費等) | |
| 3 移転支出的なコスト 143億49百万円 (社会保障給付費、補助金、繰出金等) | |
| 4 その他のコスト 6億56百万円 (支払利息、不能欠損等) | |
| 【経常収益】 B 17億6百万円 | |
| 1 使用料・手数料 10億89百万円 | |
| 2 分担金・負担金・寄付金 6億17百万円 | |
| 純経常行政コスト(A-B) ウ 310億68百万円 | |

3 純資産変動計算書

| | |
|-----------------|-------------|
| 期首純資産残高 | 1,655億55百万円 |
| 純経常行政コスト ウ | △310億68百万円 |
| 1 一般財源調達(市税等)ほか | 278億12百万円 |
| 2 補助金等受入 | 67億53百万円 |
| 3 臨時損益(災害復旧費等) | 2億6百万円 |
| 4 資産評価替による変動額 | 1百万円 |
| 変動額合計 | 37億3百万円 |
| 期末純資産残高 イ | 1,692億58百万円 |

4 資金収支計算書

資産形成以外の行政活動経費

上記コストの特定財源

一年間の変動

| | |
|---------------------|-----------|
| 1 経常的収支の部 | |
| 人件費、物件費、支払利息ほか | |
| 支出 252億48百万円 | |
| 市税、使用料・手数料ほか | |
| 収入 362億94百万円 | |
| 収支差引 | 110億47百万円 |
| 2 公共資産整備収支の部 | |
| 公共資産整備費・補助金ほか | |
| 支出 65億84百万円 | |
| 国県補助金、市債ほか | |
| 収入 36億73百万円 | |
| 収支差引 | △29億11百万円 |
| 3 投資・財務的収支の部 | |
| 貸付金、積立金、市債償還額ほか | |
| 支出 132億86百万円 | |
| 国県補助金、貸付金回収ほか | |
| 収入 54億7百万円 | |
| 収支差引 | △78億80百万円 |
| 当年度歳計現金増減額 | 2億56百万円 |
| 期首歳計現金残高 | 14億88百万円 |
| 期末歳計現金残高 ア | 17億44百万円 |

【4表の相互関係】
 ア 「歳計現金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
 イ 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
 ウ 「純経常行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

| | | |
|----------------------------------|---------|-----|
| 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報 | | |
| 収入総額 | 468億62 | 百万円 |
| 繰越金 | △14億88 | 百万円 |
| 地方債発行額 | △46億28 | 百万円 |
| 財政調整基金等取崩額 | 0 | 百万円 |
| 支出総額 | △451億18 | 百万円 |
| 地方債元利償還額 | 50億13 | 百万円 |
| 財政調整基金等積立額 | 10億14 | 百万円 |
| 基礎的財政収支 | 16億56 | 百万円 |

【作成条件】

- 様式は、「総務省方式改訂モデル」により作成した。
- データは、総務省「地方財政状況調査(決算統計)」の昭和44年以降の数値を使用した。
- 資産は、売却可能資産は時価評価、その他は取得原価で計上した。

平成23年度 佐久市
普通会計・連結会計 財務書類4表

《連結会計(31会計)》・普通会計(7会計)・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・特別養護老人ホーム特別会計・後期高齢者医療特別会計
 ・介護老人保健施設特別会計・特定環境保全公共下水道特別会計・農業集落排水事業特別会計
 ・佐久広域連合・長野県後期高齢者医療広域連合・佐久平環境衛生組合・佐久市・軽井沢町清掃施設組合・浅麓環境施設組合
 ・北佐久郡老人福祉施設組合・川西保健衛生施設組合・南佐久環境衛生組合・小諸市外二市御牧ヶ原水道組合・佐久水道企業団
 ・浅麓水道企業団・佐久市土地開発公社・(株)佐久市振興公社・佐久ケーブルテレビ(株)・(財)佐久市文化事業団
 ・国保浅間総合病院事業特別会計・公共下水道事業特別会計

1 貸借対照表

(単位:百万円)

| 借方(現有する資産) | | 貸方(資産の調達財源) | |
|------------|---------|-------------|-----------------|
| | 普通会計 | 連結会計 | |
| 《資産の部》 | | | 《負債の部》 |
| 1 公共資産 | | | 1 固定負債 |
| (1)有形固定資産 | 185,715 | 298,666 | うち普通会計地方債 |
| (2)無形固定資産 | 0 | 3 | うち公営事業会計地方債 |
| (3)売却可能資産 | 335 | 335 | うち関係団体負債 |
| 2 投資等 | 21,032 | 26,375 | 2 流動負債 |
| 3 流動資産 | 12,192 | 21,167 | 負債合計 |
| うち資金 | 1,744 | 17,587 | |
| 4 繰延勘定 | 0 | 31 | 《純資産の部》 |
| 資産合計 | 219,274 | 346,577 | 純資産合計 |
| | | | 169,258 248,618 |
| | | | 負債・純資産合計 |
| | | | 219,274 346,577 |

2 行政コスト計算書

(単位:百万円)

| 【経常行政コスト】 | | |
|------------|--------|--------|
| | 普通会計 | 連結会計 |
| 【経常行政コスト】 | | |
| 1 人にかかるコスト | 6,287 | 12,583 |
| 2 物にかかるコスト | 11,483 | 21,013 |
| 3 移転支的コスト | 14,349 | 39,293 |
| 4 その他のコスト | 656 | 3,085 |
| 経常行政コスト合計 | 32,774 | 75,974 |
| 【経常収益】 | 1,706 | 30,008 |
| 純経常行政コスト | 31,068 | 45,966 |

4 資金収支計算書

(単位:百万円)

| | 普通会計 | 連結会計 | | 普通会計 | 連結会計 |
|--------------------|---------|---------|---------------------|---------|----------|
| 1 経常的収支の部 | | | 3 投資的・財務的収支の部 | | |
| 支出(人件費、物件費、支払利息ほか) | 25,248 | 64,880 | 支出(貸付金、積立金、市債償還額ほか) | 13,286 | 16,225 |
| 収入(市税、使用料、手数料ほか) | 36,294 | 75,158 | 収入(国県補助金、貸付金回収ほか) | 5,407 | 5,911 |
| 収支差引 | 11,046 | 10,278 | 収支差引 | △ 7,879 | △ 10,314 |
| 2 公共資産整備収支の部 | | | 期首歳計現金残高 | 1,488 | 21,414 |
| 支出(公共資産整備費・補助金ほか) | 6,584 | 7,935 | 当年度歳計現金増減額 | 256 | △ 3,650 |
| 収入合計(国県補助金、市債ほか) | 3,673 | 4,320 | 経費負担割合変更に伴う差額等 | 0 | △ 177 |
| 収支差引 | △ 2,911 | △ 3,615 | 期末歳計現金残高 | 1,744 | 17,587 |

3 純資産変動計算書

(単位:百万円)

| | 普通会計 | 連結会計 |
|---------------|----------|----------|
| 期首純資産残高 | 165,555 | 249,126 |
| 純経常行政コスト | △ 31,068 | △ 45,966 |
| 一般財源調達(市税等)ほか | 27,812 | 28,305 |
| 補助金等受入 | 6,753 | 16,856 |
| 臨時損益(災害復旧費等) | 206 | 203 |
| 資産評価替による変動額 | 1 | 1 |
| その他 | 0 | 93 |
| 期末純資産残高 | 169,258 | 248,618 |

(平成24年3月31日現在人口 99,379人) 単位:千円

| (市民一人当たり) | 普通会計 | 連結会計 |
|-----------|-------|-------|
| ・純資産総額 | 1,703 | 2,502 |
| ・総負債額 | 503 | 986 |
| ・純経常行政コスト | 313 | 463 |
| ・人件費 | 68 | 127 |
| ・税収 | 124 | 124 |

平成23年度佐久市 普通会計 財務書類4表分析

貸借対照表から

資産形成とその財源

(単位:億円)

| 有形固定資産 | 金額 | 構成比(%) | 財源 | 金額 | 構成比(%) |
|-------------|--------------|--------------|-------|--------------|--------------|
| 生活インフラ・国土保全 | 1,010 | 54.4 | 国県支出金 | 298 | 16.0 |
| 教育 | 464 | 25.0 | 地方債 | 602 | 32.4 |
| 福祉 | 110 | 5.9 | 一般財源 | 957 | 51.6 |
| 環境衛生 | 31 | 1.7 | | | |
| 産業振興 | 140 | 7.5 | | | |
| 消防 | 14 | 0.8 | | | |
| 総務 | 87 | 4.7 | | | |
| 計 | 1,857 | 100.0 | | 1,857 | 100.0 |

※ 上記の表は、行政活動により、どのような財源でどれだけの公有財産が形成されてきたかを表しています。有形固定資産のうち、16.0%は国・県支出金で、32.4%は地方債で形成されており、残りの51.6%が一般財源で調達されていることがわかります。

資産の内訳は、道路や公園などの「生活インフラ」に54.4%、小学校などの「教育」に25.0%、合わせて79.4%を占めています。

(単位:億円)

| 資産の構成 | 金額 | 構成比(%) | 財源 | 金額 | 構成比(%) |
|----------|--------------|--------------|------|--------------|--------------|
| 公共資産 | 1,861 | 84.9 | 固定負債 | 441 | 20.1 |
| 投資等 | 210 | 9.6 | 流動負債 | 60 | 2.7 |
| 流動資産 | 122 | 5.6 | 純資産 | 1,692 | 77.2 |
| | | | | | |
| 計 | 2,193 | 100.0 | | 2,193 | 100.0 |

※ 上の表から、資産のうち公共資産が84.9%を占めています。

負債及び純資産では、負債が全体の22.8%、純資産が77.2%になっています。純資産の比率が高いということは、資産について現在までの世代による負担で形成し、将来の世代へ引き継ぐ資産が多いことを意味します。

行政コスト計算書から

【経常行政コスト】

(単位:百万円)

【性質別】

| 性質別経費 | 金額 | 構成比(%) |
|-----------|---------------|--------------|
| 人にかかるコスト | 6,287 | 19.2 |
| 物にかかるコスト | 11,483 | 35.0 |
| 移転支出的なコスト | 14,349 | 43.8 |
| その他のコスト | 656 | 2.0 |
| 計 | 32,774 | 100.0 |

【目的別】

(単位:百万円)

| 目的別経費 | 金額 | 構成比(%) |
|-------------|---------------|--------------|
| 生活インフラ・国土保全 | 4,845 | 14.8 |
| 教育 | 3,980 | 12.1 |
| 福祉 | 12,603 | 38.5 |
| 衛生環境 | 2,906 | 8.9 |
| 産業振興 | 2,356 | 7.2 |
| 消防 | 1,158 | 3.5 |
| 総務 | 3,965 | 12.1 |
| 議会 | 304 | 0.9 |
| 支払利息 | 581 | 1.8 |
| 回収不能見込額 | 194 | 0.6 |
| その他行政コスト | △ 118 | △ 0.4 |
| 計 | 32,774 | 100.0 |

※ 目的別の内訳では、「福祉」が38.5%(126億3百万円)と最も多く、次いで「生活インフラ」が14.8%(48億45百万円)、「教育」が12.1%(39億80百万円)、「総務」が12.1%(39億65百万円)、などとなっています。

平成23年度佐久市 普通会計財務諸表を活用した分析

下記指標及び平均的な値の範囲は「新地方公会計制度の徹底解説」(監査法人トーマツ編著)から抜粋

1 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す公共資産のうち、純資産による形成割合を見ることにより、これまでの世代(過去および現代)によって既に負担された割合を見ることができます。
また、地方債に着目すれば、将来返済しなければならない、将来世代によって負担される割合を見ることができます。

| | |
|---|--|
| <算出方法> ○現世代負担比率 $\frac{\text{純資産合計}}{\text{公共資産合計}} \times 100$ (平均値50~90%) | 【佐久市指標値】 $\frac{169,257,701}{186,050,658} \times 100 = 91.0\%$ H22指標 89.2% |
| ○将来世代負担比率 $\frac{\text{地方債残高}}{\text{公共資産合計}} \times 100$ (平均値15~40%) | 【佐久市指標値】 $\frac{41,527,933}{186,050,658} \times 100 = 22.3\%$ H22指標 22.3% |

2 歳入額対資産比率

形成されたストックである資産は何年分の歳入が充当されたかを見ることができます。

| | |
|---|---|
| <算出方法> ○歳入額対資産比率 $\frac{\text{資産合計}}{\text{歳入総額}}$ (平均値3.0~7.0) | 【佐久市指標値】 $\frac{219,274,320}{46,862,351} = 4.7$ H22指標 4.5 |
|---|---|

3 有形固定資産の行政目的別割合

貸借対照表に計上された有形固定資産の行政目的別割合を見ることにより、行政分野ごとの公共資産形成の比重を把握することができます。

| | |
|--|---|
| <算出方法> ○有形固定資産の行政目的別割合 $\frac{\text{行政目的区分別有形固定資産}}{\text{有形固定資産合計}} \times 100$ | 【佐久市指標値】 指標値は、別紙に算定してあります。 ・一般的に、生活インフ・国土保全(土木費)、教育(教育費)が大きな割合を占めており、当市も同様の状態で、産業振興(主に農林水産業費)が次いで高い比率を占めています。 |
|--|---|

4 資産老朽化比率

貸借対照表に計上された有形固定資産のうち、土地以外の償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に比して償却資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができます。

| | |
|---|--|
| <算出方法> ○資産老朽化比率 $\frac{\text{減価償却累計額}}{(\text{有形固定資産計}-\text{土地}+\text{減価償却累計額})} \times 100$ (平均値35~50%) | 【佐久市指標値】 $\frac{126,583,357}{264,683,603} \times 100 = 47.8\%$ H22指標 45.7% |
|---|--|

5 受益者負担比率

行政コスト計算書における経常収益は、受益者負担の金額であるため、経常収益の行政コストに対する割合を算定することで、受益者負担割合を算定することができます。

| | |
|---|---|
| <算出方法> ○受益者負担比率 $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常行政コスト}} \times 100$ (平均値2~8%) | 【佐久市指標値】 $\frac{1,706,046}{32,774,279} \times 100 = 5.2\%$ H22指標 5.5% |
|---|---|

6 行政コスト対公共資産比率

行政コストの公共資産に対する比率を見ることで、資産を活用するためにどれだけのコストがかかっているのか、あるいはどれだけの資産でどれだけの行政サービスを提供しているのかを見ることができます。

| | |
|--|---|
| <算出方法> ○行政コスト対公共資産比率 $\frac{\text{経常行政コスト}}{\text{公共資産}} \times 100$ (平均値10~30%) | 【佐久市指標値】 $\frac{32,774,279}{186,050,658} \times 100 = 17.6\%$ H22指標 17.4% |
|--|---|

7 行政コスト対税収等比率

純経常行政コストに対する一般財源等の比率を見ることにより、当年度に行われた行政サービスのコストから受益者負担分を除いた純経常行政コストに対して、どれだけが当年度の負担で賄われたかがわかります。

| | |
|--|--|
| <算出方法> ○行政コスト対税収等比率 $\frac{\text{純経常行政コスト}}{(\text{一般財源}+\text{補助金等受入}(\text{その他一般財源等}))} \times 100$ (平均値90~110%) | 【佐久市指標値】 $\frac{31,068,233}{34,564,504} \times 100 = 89.9\%$ H22指標 92.7% |
|--|--|

8 地方債の償還可能年数

市の抱えている地方債を経常的に確保できる資金で返済した場合に何年で返済できるかを表す指標で、借金の多寡や債務返済能力を測るものです。

| | |
|--|---|
| <算出方法> ○地方債の償還可能年数 $\frac{\text{地方債残高}}{\text{経常的取支額}(\text{地方債発行額及び基金取崩額を除く})}$ (平均値3~9年) | 【佐久市指標値】 $\frac{41,527,933}{8,942,402} = 4.6 \text{ 年}$ H22指標 4.7 年 |
|--|---|

平成23年度佐久市 連結会計財務諸表を活用した分析

1 連単比率

【留意点】連単比率=2.00 は、連結ベースが普通ベースの2倍、すなわち、普通会計と普通会計以外の連結会計の規模が同じことを示す。

例えば、負債の連単比率が2倍以上であれば、普通会計より連結団体の負債が多いことを表します。

【算式】資産合計、負債合計、行政コスト(収益控除前)合計について計算しています。

《算出方法》

○連単比率

$$\frac{\text{連結数値}}{\text{普通会計数値}}$$

【佐久市指標値】

$$\frac{\text{資産合計}}{\text{346,577,732}} = \frac{\text{219,274,320}}{\text{219,274,320}} = 1.6$$

【佐久市指標値】

$$\frac{\text{負債合計}}{\text{97,959,946}} = \frac{\text{50,016,619}}{\text{50,016,619}} = 2.0$$

【佐久市指標値】

$$\frac{\text{行政コスト}}{\text{75,974,270}} = \frac{\text{31,068,233}}{\text{31,068,233}} = 2.4$$

2 普通会計の負債と連結会計の負債

【留意点】住民一人当たりの負債は、普通会計の分析でも一人当たり資産との比較で示したが、住民負担という点に鑑みれば連結ベースで示すべきものなので、ここでは連結ベースの一人当たり負債を、普通会計と連結会計に分けて示しました。

《算出方法》

【佐久市指標値】

$$\frac{\text{普通会計負債合計}}{\text{24.3.31現在住民基本台帳人口}} = \frac{\text{50,016,619}}{\text{99,379}} = 503 \text{ 千円}$$

$$\frac{\text{連結会計負債合計}}{\text{24.3.31現在住民基本台帳人口}} = \frac{\text{97,959,946}}{\text{99,379}} = 986 \text{ 千円}$$

3 連結ベースの純資産割合～純資産比率

純資産比率が高いほど将来世代負担比率が低いことを表しています。

《算出方法》

$$\frac{\text{純資産総額}}{\text{資産総額}} \times 100 = \text{純資産比率}$$

【佐久市指標値】

$$\frac{\text{248,617,786}}{\text{346,577,732}} \times 100 = 71.7 \%$$

4 保有する固定資産の分析～有形固定資産の目的割合

有形固定資産の目的別割合

| 有形固定資産 | 金額(億円) | 構成比(%) |
|-------------|--------|--------|
| 生活インフラ・国王保全 | 1,763 | 59.0 |
| 教育 | 464 | 15.5 |
| 福祉 | 133 | 4.5 |
| 環境衛生 | 339 | 11.3 |
| 産業振興 | 143 | 4.8 |
| 消防 | 18 | 0.6 |
| 総務 | 87 | 2.9 |
| 収益事業 | 38 | 1.3 |
| その他 | 0 | 0.0 |
| | 2,987 | 99.9 |

5 行政コストの発生状況～行政コストの性質別割合

【留意点】一般的には、連結ベースの行政コストは国民健康保険特別会計や介護保険特別会計における給付費用が移転支出的なコストに計上される影響で、移転支出的なコストの割合が相対的に高くなります。

| 性質別経費 | 金額(億円) | 構成比(%) |
|-----------|--------|--------|
| 人にかかるコスト | 126 | 16.5 |
| 物にかかるコスト | 210 | 27.6 |
| 移転支出的なコスト | 393 | 51.8 |
| その他のコスト | 31 | 4.1 |
| 計 | 760 | 100.0 |

平成23年度佐久市 普通会計・連結会計 財務書類4表 前年比較

普通会計

1 貸借対照表

資産の部

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|------|-------------|-------------|-----------|--------|
| 公共資産 | 186,050,658 | 185,614,183 | 436,475 | 0.2 |
| 投資等 | 21,031,642 | 19,347,293 | 1,684,349 | 8.7 |
| 流動資産 | 12,192,020 | 10,906,790 | 1,285,230 | 11.8 |
| 資産計 | 219,274,320 | 215,868,266 | 3,406,054 | 1.6 |

負債・純資産の部

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|---------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 固定負債 | 44,050,281 | 45,317,340 | △ 1,267,059 | △ 2.8 |
| 流動負債 | 5,966,338 | 4,996,324 | 970,014 | 19.4 |
| 純資産 | 169,257,701 | 165,554,602 | 3,703,099 | 2.2 |
| 負債・純資産計 | 219,274,320 | 215,868,266 | 3,406,054 | 1.6 |

2 行政コスト

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|----------|------------|------------|----------|--------|
| 経常行政コスト | 32,774,279 | 32,250,482 | 523,797 | 1.6 |
| 経常収益 | 1,706,046 | 1,782,191 | △ 76,145 | △ 4.3 |
| 純経常行政コスト | 31,068,233 | 30,468,291 | 599,942 | 2.0 |

3 資金収支計算書

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|-------------|-------------|-------------|-----------|--------|
| 経常的収支額 | 11,046,522 | 11,687,051 | △ 640,529 | △ 5.5 |
| 公共資産整備収支額 | △ 2,910,619 | △ 2,551,550 | △ 359,069 | △ 14.1 |
| 投資・財務的収支額 | △ 7,879,855 | △ 8,867,802 | 987,947 | 11.1 |
| 当該年度歳計現金増減額 | 256,048 | 267,699 | △ 11,651 | △ 4.4 |

連結会計

1 貸借対照表

資産の部

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 公共資産 | 299,004,979 | 301,260,481 | △ 2,255,502 | △ 0.7 |
| 投資等 | 26,374,542 | 24,120,936 | 2,253,606 | 9.3 |
| 流動資産 | 21,167,095 | 19,378,133 | 1,788,962 | 9.2 |
| 繰延勘定 | 31,116 | 8,780 | 22,336 | 254.4 |
| 資産計 | 346,577,732 | 344,768,330 | 1,809,402 | 0.5 |

負債・純資産の部

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|---------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 固定負債 | 85,770,880 | 89,711,474 | △ 3,940,594 | △ 4.4 |
| 流動負債 | 12,189,066 | 11,910,192 | 278,874 | 2.3 |
| 純資産 | 248,617,786 | 243,146,664 | 5,471,122 | 2.3 |
| 負債・純資産計 | 346,577,732 | 344,768,330 | 1,809,402 | 0.5 |

2 行政コスト

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|----------|------------|------------|-----------|--------|
| 経常行政コスト | 75,974,270 | 73,918,912 | 2,055,358 | 2.8 |
| 経常収益 | 30,008,120 | 28,723,615 | 1,284,505 | 4.5 |
| 純経常行政コスト | 45,966,150 | 45,195,297 | 770,853 | 1.7 |

3 資金収支計算書

(単位:千円)

| | 23年度 | 22年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|-------------|--------------|--------------|-----------|--------|
| 経常的収支額 | 10,278,002 | 10,080,261 | 197,741 | 2.0 |
| 公共資産整備収支額 | △ 3,614,755 | △ 3,108,677 | △ 506,078 | △ 16.3 |
| 投資・財務的収支額 | △ 10,313,887 | △ 10,804,650 | 490,763 | 4.5 |
| 翌年度繰上充用金増減額 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 当該年度歳計現金増減額 | △ 3,650,640 | △ 3,833,066 | 182,426 | 4.8 |